

式 辞

春の温かい日差しのもと、合瀬川の桜が見事に満開となり、通学する生徒の頭上に鮮やかな花のトンネルを作り出す頃となりました。この良き日に、PTA会長 藤田美穂 様を始めとして、PTA役員の皆様のご臨席を賜り、保護者の皆様とともに、第四十五回 愛知県立小牧南高等学校 入学式を挙げていただきますことを、高い席からではありますが、本校職員を代表し、厚くお礼申し上げます。

ただいま入学を許可しました 二百四十六名の新入生の皆さん、本校への入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。また、今日のこの慶びの日を迎え、新入生の皆さんの感激はもとより、これまで細やかな愛情をもってはぐくんでこられました保護者の皆さま方にはお慶びも、ひとしおのことと推察し、心からお祝い申し上げます。

本校は昭和55年に開校し、本年度創立45年目を迎えます。創立当初から進学校として地域の信頼を築いてまいりました。卒業生も1万4千人を超え、小牧市をはじめ各方面で活躍しています。

本校の校訓は「知(ち)・行(コウ)・恕(ジョ)」です。最初の二文字、知と行は、「知行合一」という言葉が由来となっています。この言葉

の意味は、「知識と行為は一体である。知っているだけで実践しないのは本当の知とは言えない」という意味です。学んだことを即実行に移し、知りえた知識を確たるものとする積極性を心に銘じてください。

三つ目の文字「恕」は、中国古代の思想書『論語』を出典としています。儒家の始祖、孔子が「人が一生涯を通じて実践し続けられる大切な言葉は何ですか」と弟子に尋ねられ、「それは恕だね。自分がされたくないことは人にしてはならない」と答えます。ここから恕とは一般に「思いやり」と言われます。「恕」が生涯実践し続けられるというわけは、人が常に他者との関係を持ちながら生きているからです。他者と良好な関係を保つには、他者と接する中で、他者が喜ばない言動は思いやって避けてやり、自分がこうありたいと思うことを相手もできるようにしてやることです。この「恕」、思いやりの根底には、同じ人間同士、分かり合えるという信頼があります。人の集団が大きくなると、とかくルールを決めてという話になりがちですが、まずは日々顔を見合わせる身近な人同士の相互信頼がなければ、どんなルールを作っても守られないでしょう。対立と分断が昨今はびこるのは、これが忘れられているからではないでしょう

か。牧南生は校訓の三つ目、「恕」に深く共感を抱き、日々「恕」を
実践する修練を積み、世に出たときには、人と人をつなぐ働きを
社会で果たしてほしいと思います。

本校は、学問だけでなく、このように豊かな心を育てることを大
事にする学校です。さらに言えば、普通科高校である本校は、直接
将来の職業選択や大学進学にのみ特化した、偏った教育活動は行い
ません。高校3年間という、短いけれども人間が最も成長するこの
時期に、どれだけ幅広く興味・関心を持ち、何を深く学んだか、様々
な活動に取り組みどれだけ努力したかを尊重します。生徒の進路希
望を叶えるために必要な懇切な指導を当然行いますが、大切なこと
は10年あるいはそれ以上先の将来において、自らの可能性を大き
く開くことができるような、すそ野の広さを養うことだと考えてい
ます。部活動や地域貢献活動にも積極的に取り組み、文化芸術に親
しみ、友と語り、他者を思いやる経験を重ねることで、自分自身の
考え方や価値観の基礎を確立することが、これからの社会で活躍す
る者にとって不可欠なことです。これを前提として、本校では様々
な教育活動を展開しています。皆さんが求める限り本校は質の高い
教育を提供していきます。

さて、この春本校を卒業した第42回卒業生に、私は「セレンディピティ」という言葉をはなむけに贈りました。新しい人生のステージに臨む際に知っていてほしい心構えだからです。今日から高校生として歩み始める皆さんも同じ状況ですね。ですから、高校生活デビューの皆さんにも、ぴったりのフレーズとして「セレンディピティ」という言葉を掛けたいと思います。ペルシャの昔話「セレンディップの三人の王子たち」に、この言葉は由来します。詳細は原作に譲るとして、今では、「素敵な偶然に出会うこと、予想外の新しいものを発見すること」という意味で使われる、このセレンディピティの核心は、偶然を見逃さず、積極的に機会を生かす、「心の構え」です。

住み慣れたそれぞれの地元から出て、クラスやこの体育館で偶然隣り合わせた人は、お互い見知らぬ人であることも多いでしょう。皆さんは、誰かわからないからと知らない顔をすることもできます。しかし私がお勧めする「セレンディピティ」を大切にすれば、どうするのがよいか答えは一つです。お互いの過去を知らない者同士、同じ牧南生の新人として、積極的に声を掛け新しい人間関係を作りませんか。人との付き合いに限りません。真新しい教科書や参考書、部活動や学校行事、将来の進路目標など、高校に入って「はじめまして」の出会いをするいろいろな事柄に対しても、

なじみがないからと素通りせず、勇気を出して新しいことに挑戦してみる、失敗してもそれも経験と思ってへこたれない。これも「セレンディピティ」の心の構えです。ぜひ「セレンディピティ」をつかむ、予想外の出会いを幸せな偶然として受け入れ、未知の世界に自分を賭けてみることを、皆さんにはお勧めします。ふとした偶然をきっかけに、新しい自分を見出し幸運をつかみ取ることがきっとあるはずです。

最後になりましたが、保護者の皆さまに申し上げます。本日より、大切なお子様をお預かりすることになりました。お子様の教育、指導を、おひき受けしましたうえは、生徒一人一人の内に秘めた可能性を最大限に伸ばすべく、全職員が一丸となり、情熱と愛情、時には厳しさをもって、全力で教育活動を推進し、保護者並びに地域の皆様方の御期待に精一杯こたえていく所存であります。御家庭におかれましても本校の指導方針を御理解いただき、諭すべきところがあれば親として毅然と対応していただきますようお願いいたします。

本校のさらなる飛躍のために、格別の御理解と御支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます、式辞といたします。

令和六年四月八日

愛知県立小牧南高等学校長 瀬尾 学

